



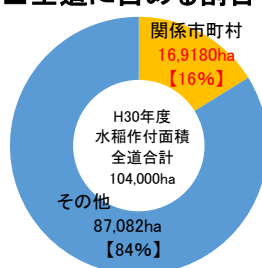
1 地域の概要

- ▶ 石狩川中流域に拓けた稲作を中心とした農業地帯
- ▶ 水稲作付面積が全道1位と6位を受益とする「米どころ」(岩見沢市で「米-1グランプリ」を受賞)
- ▶ 北海地区の関係市町村で、約2万haの水稲を生産→全道の約2割を占める
- ▶ たまねぎ、はくさいなどは、野菜指定産地の指定を受け、道内有数の産地

■水稲作付面積の全道ベスト5 (H30年度)



■全道に占める割合



岩見沢市のたまねぎ
全道4位の作付面積(H30)

1,190ha

岩見沢市のはくさい
全道1位の作付面積(H30)

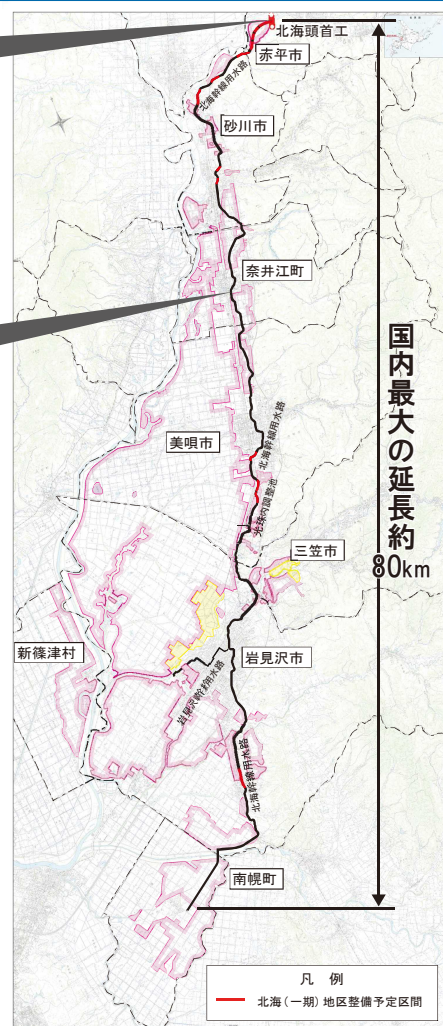
175ha



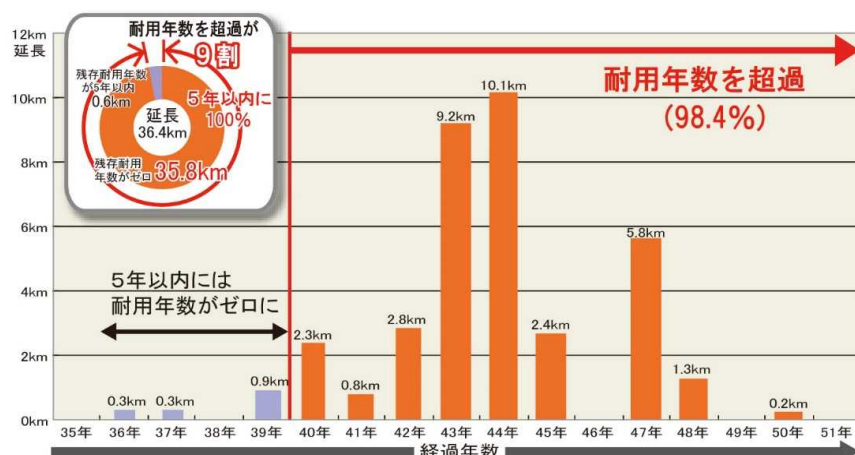
「米-1グランプリ」でコメ日本一

2 地域の現状と課題

- ▶ 国内最大規模の「北海頭首工」・「北海幹線用水路」が、地区内の水稲生産を支えている
- ▶ これらの既存施設は、築造後40年以上を経過する施設が約9割
- ▶ 5年以内に、ほぼ全ての施設の残存耐用年数がゼロ
- ▶ 積雪寒冷地に対応した構造となっておらず「水路倒壊」等のおそれ



■北海幹線用水路及び岩見沢幹線用水路 既設使用区間の造成後経過年数(H25時点)



3 事業目的

北海地区の農業用水施設は、老朽化・凍上等によるコンクリートの劣化が進行している。

また、北海幹線用水路は、長大な水路であるため、効率的な用水管理や施設管理に苦慮している。

このため、本事業では頭首工及び幹線用水路を整備し、農業用水の安定供給、維持管理の軽減、用水管理の効率化を図り、農業経営の安定と地域農業の振興に資するものである。

4 事業計画概要

受益面積：27,002ha(田26,269ha、畑733ha)

関係市町村：岩見沢市、美瑛市、赤平市、三笠市、砂川市、南幌町、奈井江町、新篠津村

受益戸数：2,329戸

主要工事：頭首工1カ所(部分改修)、用水路2条(L=36.4km)

主要作物：水稲、小麦、大豆、たまねぎ、小豆、キャベツ、はくさい、花き

事業工期：平成22年度～

5 老朽化状況と改修適期

- 施設機能診断調査の結果から、「北海頭首工」、「北海幹線用水路」の健全度評価(老朽度)として、Ⅳ～Ⅰランクに区分

■施設機能診断調査結果

▼北海頭首工

工種	部位	グレード
土砂吐	堰柱	Ⅱ：要観察
	管理橋	Ⅱ：要観察
洪水吐	堰柱	Ⅱ：要観察
護床	エプロン	Ⅱ：要観察
取水口	—	Ⅲ-2：補強
護岸	擁壁	Ⅱ：要観察

▼用水路

グレード	北海幹線用水路(km)	岩見沢幹線用水路(km)
Ⅳ：改築	22.2	1.0
Ⅲ-2：補強	10.0	1.2
Ⅲ-1：補修	0.8	1.2
Ⅱ：要観察	—	—
Ⅰ：対策不要	—	—

※Ⅲ-2、Ⅲ-1は、経済比較の結果、最も有利となったⅣと同様の改築を行う。



■緊急性・優先度・早期効果発現を踏まえて改修時期を設定



※施設毎の優先度：「北海頭首工」→「北海幹線用水路」→「岩見沢幹線用水路」

※施設内の優先度：「上流部→下流部」、「劣化グレード上位→下位」、「市街地→農地」を評価して順位付け

6 用水管理の向上

- 長大な用水路で広域につながっているため、水管理や土砂流入対策が必要 ⇒ 降雨時等の水利制御施設や土砂排出のための進入路の整備



担当：北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢農業事務所 (TEL 0126-22-1760)